



平成 23 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 小 田 急 電 鉄 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 大 須 賀 頼 彦
(コード番号 9007 東証第一部)
問 合 せ 先 CSR・広報部課長 藤 田 謙
(TEL . 03 - 3349 - 2290)

社長交代に関するお知らせ

当社では、本日開催された取締役会において、下記のとおり役員の異動を内定いたしました。
なお、正式には本年 6 月 29 日開催予定の第 90 回定時株主総会後の取締役会において、決定する予定です。

記

1. 異動の内容

氏 名	新 役 職	現 役 職
大須賀 頼彦 (おおすが よりひこ)	代表取締役 取締役会長 執行役員	代表取締役 取締役社長 執行役員
山木 利満 (やまき としみつ)	代表取締役 取締役社長 執行役員	代表取締役 取締役副社長 執行役員

本異動に伴う代表取締役の異動はありません。

2. 社長交代の理由

当社では、平成 17 年 (2005 年) に策定したグループ事業ビジョン「Value Up 小田急」のもと、小田急グループの根幹である鉄道の基盤強化と、グループ各社との連携体制の構築に取り組んでまいりました。特に鉄道事業については、鉄道の最大の使命である安全運行に関して社内体制の強化に努めたほか、複々線化事業の推進、新型車両の導入など、鉄道の利便性向上、競争力強化を鋭意図ってまいりました。さらには、鉄道を基軸として、その両端に位置する箱根や江の島の活性化、新宿における賃貸事業の拡充など、エリア戦略も順次進めてまいりました。

これらの施策は、鉄道事業に長く携わってきた現社長の大須賀頼彦のリーダーシップのもと、グループの経営企画部門を現副社長の山木利満が統括するという両輪体制で推進・具現化してきましたが、こうした取り組みにも概ね一定の目処がついてまいりました。

来るべき将来の本格的な人口減少時代において、鉄道を中核とする企業集団として存続し、成長していくためにも、今後は、鉄道とグループ各事業とのシナジーを今まで以上に図り、新しい価値を提供していくことが必要です。こうした考えのもと、グループ全体の事業構造の変革を一層進めていくため、今般、現社長の大須賀が会長となり、副社長の山木が社長に就任し、経営体制の一層の強化を図ることとしました。

大須賀は、引き続き取締役会長という立場で、小田急電鉄、小田急グループを統率いたしますが、小田急グループとしては、鉄道を柱としたグループ事業の再構築に主眼を置き、山木新社長の主導のもとで、次代の小田急グループのあり方を構築してまいります。

3. 新任社長の略歴等 別紙の通り

4. 就任予定日 平成 23 年 (2011 年) 6 月 29 日 (第 90 回定時株主総会開催予定日)

以 上

(別紙) 新任社長の氏名および略歴

氏 名	山 木 利 満 (やまき としみつ)
生年月日	昭和 2 2 年 (1 9 4 7 年) 5 月 3 日 生 6 3 歳
出 身 地	神奈川県
学 歴	昭和 4 5 年 (1 9 7 0 年) 3 月 東京都立大学 法学部 卒業
略 歴	昭和 4 5 年 (1 9 7 0 年) 4 月 小田急電鉄株式会社 入社 平成 7 年 (1 9 9 5 年) 6 月 広報部部長 平成 9 年 (1 9 9 7 年) 6 月 総務部長兼秘書室長 平成 1 0 年 (1 9 9 8 年) 6 月 総務部長兼秘書室長兼広報部長 平成 1 1 年 (1 9 9 9 年) 6 月 取締役就任人事部長委嘱 平成 1 3 年 (2 0 0 1 年) 6 月 常務取締役執行役員就任 平成 1 5 年 (2 0 0 3 年) 6 月 代表取締役専務取締役執行役員就任 平成 1 7 年 (2 0 0 5 年) 6 月 代表取締役副社長執行役員就任 (現在に至る。) グループ経営企画本部長委嘱 平成 1 8 年 (2 0 0 6 年) 6 月 経営企画本部長委嘱 平成 1 9 年 (2 0 0 7 年) 6 月 経営政策本部長委嘱 現在、業務総括、新宿プロジェクト推進室の担当役員であります。

以 上